

レジリエンスの理論・研究・ 実践を刷新する — 精神保健における対話と地 域活動への応用 —

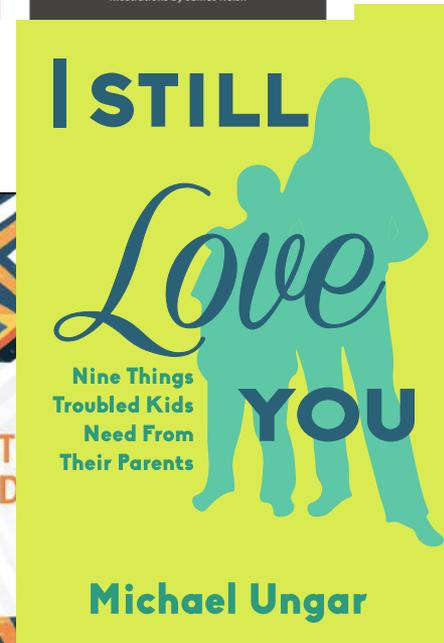
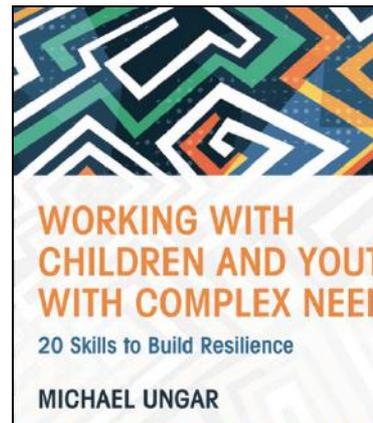
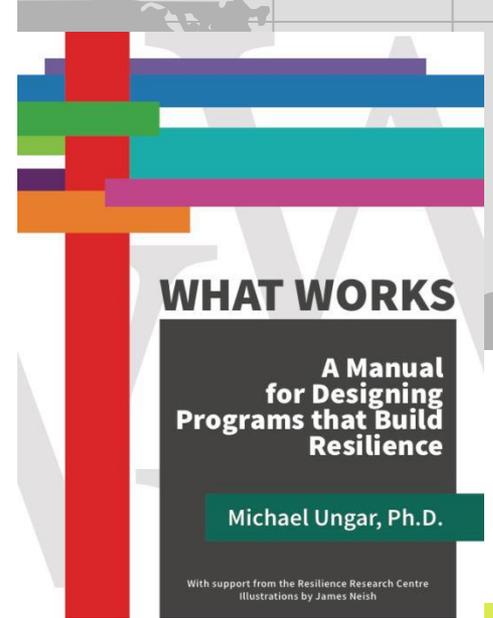


Resilience
Research
Centre

マイケル、ウンガー, Ph.D.

カナダ、子ども・家族・コミュニティのレジリエンス研究所主席
ソーシャルワーク学部、ダルハウジー大学

Twitter @MichaelUngarPhD
www.michaelungar.com
www.resilienceresearch.org





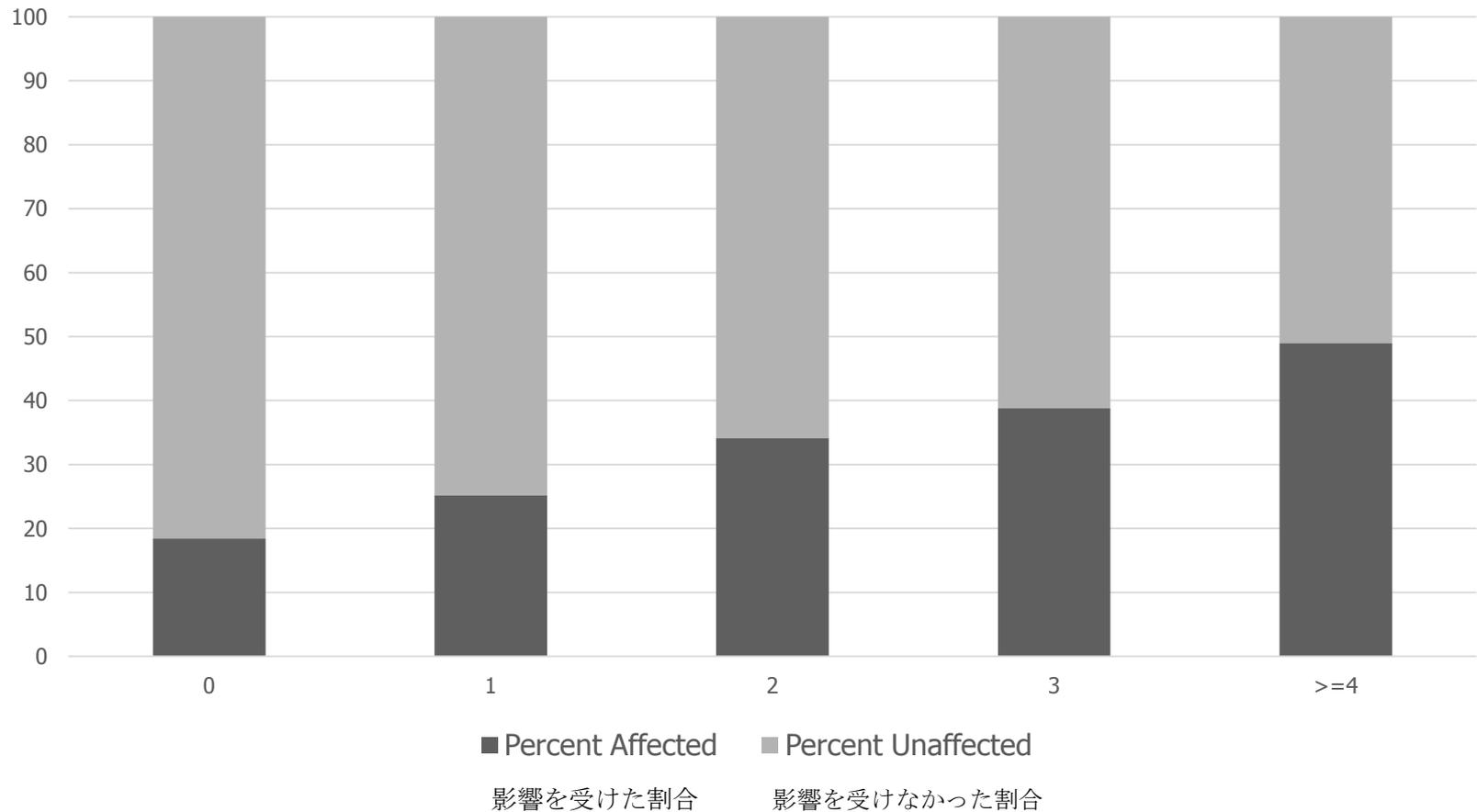
子ども時代の有害な経験 (ACE) (Adverse Childhood Experiences)

ACE (Anda et al., 2006)

- ❑ 言葉による虐待
- ❑ 身体的虐待
- ❑ 性的虐待
- ❑ 情緒的虐待
- ❑ ネグレクト
- ❑ 身近な親の暴力の目撃
- ❑ 離婚や別居
- ❑ 養育する人(女性)の精神障害
- ❑ 養育する人(女性)の薬物依存
- ❑ 養育する人の犯罪と拘留

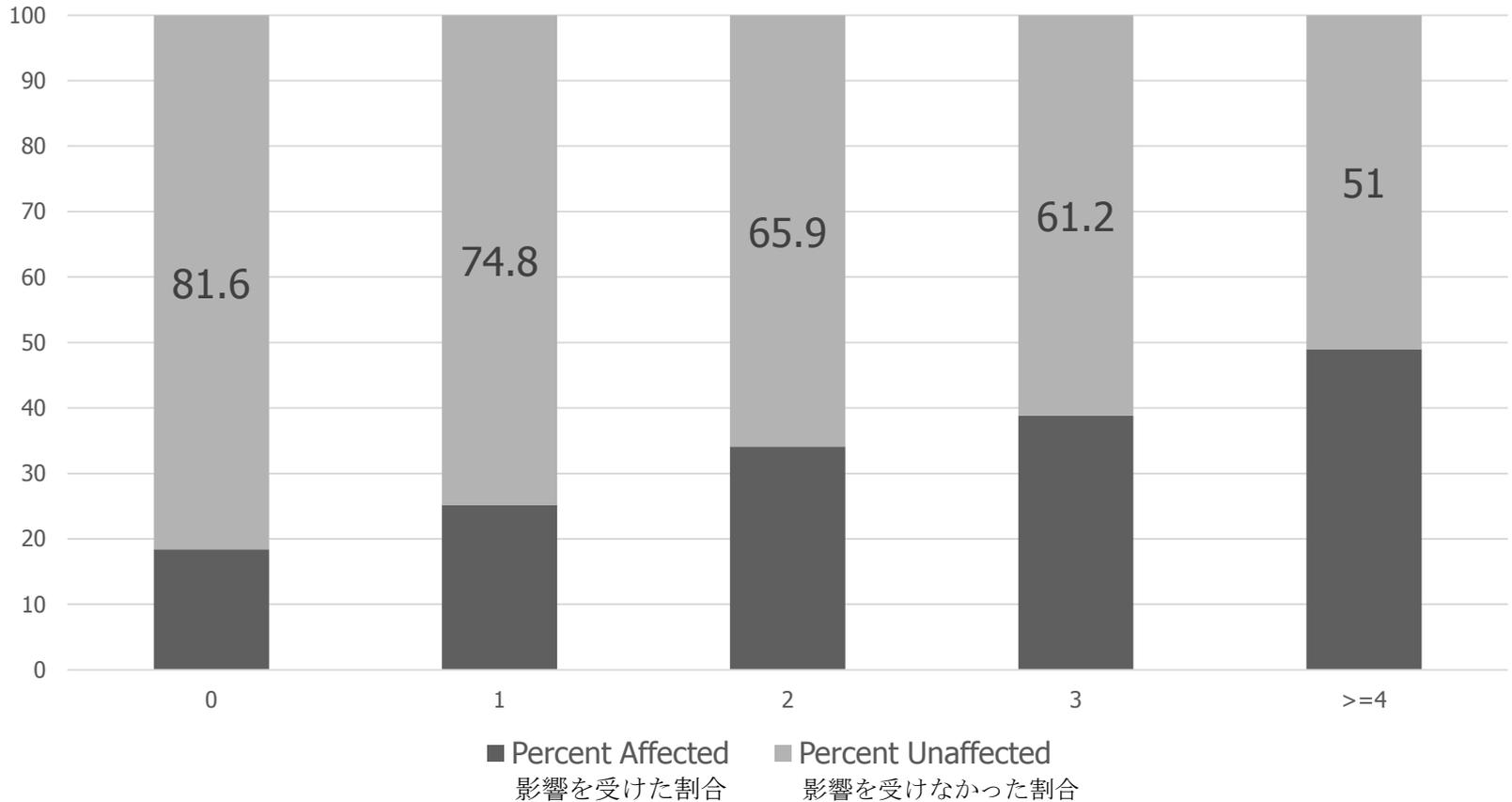


うつ病罹患者の影響の割合 と ACE スコア





うつ病非罹患者の影響の割合と ACE スコア



Anda, R. F., Felitti, V. J., Bremner, J. D., Walker, J. D., Whitfield, C., Perry, B. D., ... Giles, W. H. (2006). The enduring effects of abuse and related adverse experiences in childhood: A convergence of evidence from neurobiology and epidemiology. *European Archives of Psychiatry and Clinical Neuroscience*, 256, 174–186.



波を止めることは出来ないけれど、
“サーフィン”を学ぶことはできる。

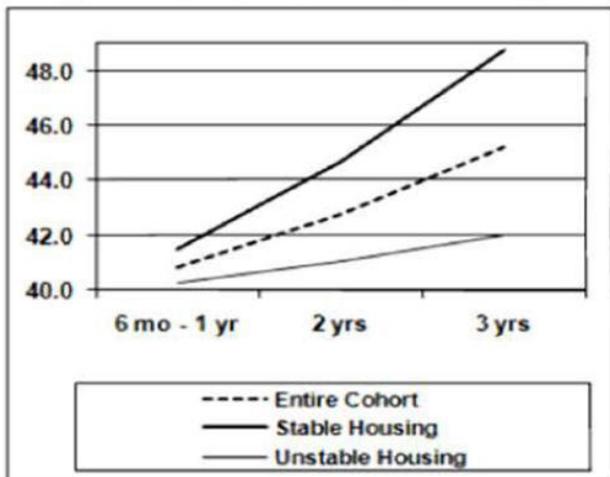
--*John Kabat-Zinn* <ジョンカバット-ジン>

サーフボード、コーチ、ライフセーバーが
揃っていれば、サーフィンを学ぶのは難し
くありません。

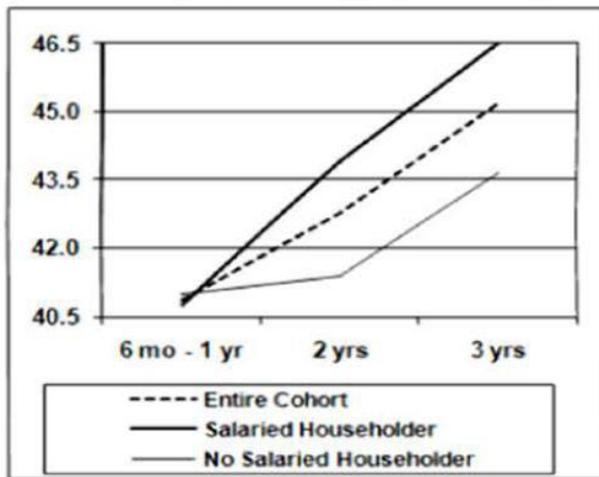


ハリケーン・カタリナ後の時間軸による精神保健構成要素の概況 <GCAFH : The Gulf Coast Child and Family Health Study>

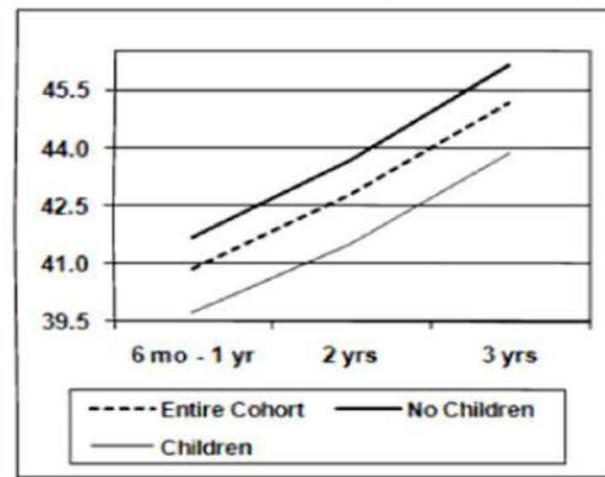
Figure 2. Mental Health Component Summary Score by Post-Katrina Timeline, GCAFH Data (Mean MCS)



点線：集団全体
黒実線：安定した居住場所
グレー実線：不安定な居住場所



点線：集団全体
黒実線：給与所得世帯主
グレー実線：非給与所得世帯主



点線：集団全体
黒実線：子どもなし
グレー実線：子どもあり

D.アブラムソン、ニューヨーク大学よりデータ使用承諾済み

With permission: David Abramson, New York University



リスクの
表出



保護的な過
程と要因



必要とす
る結果



Despite a seawall of 6.6m in height, the tsunami still destroyed the town





レジリエンスのための診断基準

(Ungar, 2015)

🌀 領域 1: アドバーシティの評価調査

- ❑ 過酷度
- ❑ 慢性度
- ❑ 生態学的レベル
- ❑ 因果関係の属性
- ❑ 文化と脈絡の関連性



レジリエンスのための診断基準

🌀 領域 2:レジリエンスの評価調査

- **低いリスクの文脈で, 個人の質の評価—気質, パーソナリティー, 状況**
- **高いリスクの文脈で, 個人の質の評価と共に調査するもの**
 - 資源の使用可能性
 - 資源への接近性
 - 資源の戦略的利用
 - 対処戦略の前向きな強化
 - 環境の適応的受容力



レジリエンスのための診断基準

❁ 領域 3: 多次元項目の考慮

❁ 現世の(具体的に認識できる側面)

- 社会歴史的
- 成長・発達の

❁ 文化的





レジリエンスの実践的定義

- その人にとって重い逆境、重大な困難・難事が表れる中で、
- レジリエンスは個人の心理的、社会的、文化的、身体的、物的資源が本人に作用する方向を探し求め、安定した生活(ウェルビーイング)を維持する能力であると共に、
- これらの資源が文化的に本人にとって意味ある方法で
- 提供される様に、調整し利用する、個的・集合的な能力のことである。

(この訳は秋山 薊二(2012)の訳です。その他に日本の研究者2名がこの定義を訳しています。それらを掲載します。原文と共に参考にして下さい。)



✦ 小森康永氏訳(2015)

レジリエンスとは重大な逆境の下、自らの幸福を維持するための心理的、社会的、文化的、そして身体的資源に自らを導く個人的能力、およびそれらの資源が文化的に意味のある仕方で提供されるように個人的にも、集団的にも意味のある交渉を実現する能力のことである。

<Ungar 著、松岡、奥野、小森(訳)(2015)『レジリエンスを育てよう』金剛出版の帯に記載>

✦ 得津慎子氏訳(2016)

刮目すべき困難に曝される状況でレジリエンスはそのウェルビーイング維持する心理的・社会的・物的資源に個人を導く(navigate)能力であり、文化的に意味ある道にもたらせるこれらの資源とすりあわせる(negotiate)個別の、集合的な能力。

<得津慎子(2016) 家族レジリエンス、家族療法研究 第33巻1号>



A Practical Definition of Resilience

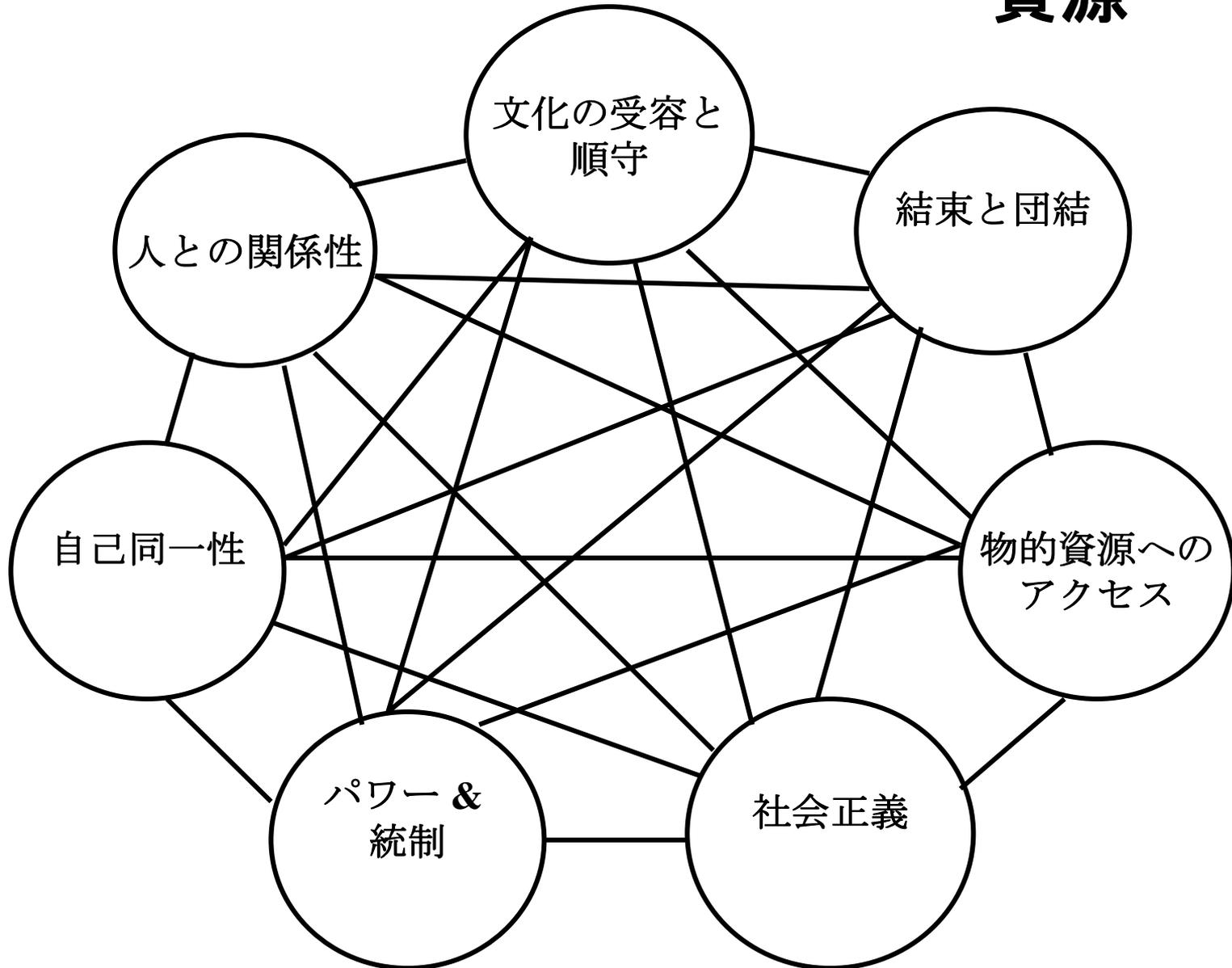
- ✦ In the context of exposure to significant adversity,
- ✦ resilience is the capacity of individuals and groups to *navigate* their way to the psychological, social, cultural, and physical resources that sustain their wellbeing, and...
- ✦ their capacity to *negotiate* for these resources to be provided...
- ✦ in culturally meaningful ways.



Resilience
Research
Centre



七つのレジリエンス 資源





変化の理論

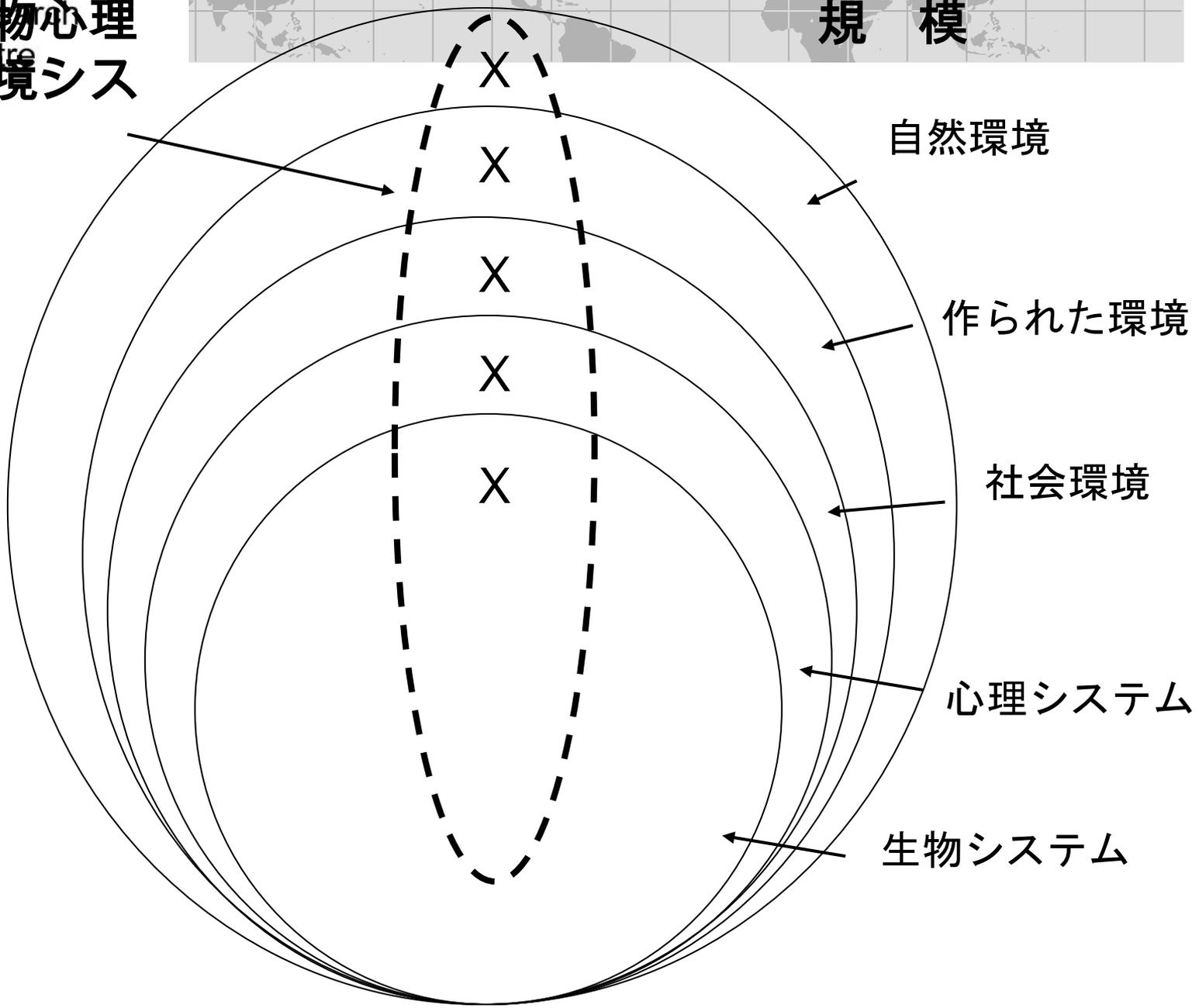
- ❖ チャレンジに挑む子どもは通常の支援、プログラム、介入、社会政策が作用した時にレジリエンスを経験する。
 - ❖ 効果的な探索と誘導
 - ❖ 効果的な交渉と調整
 - ❖ 文化的・状況的に意味ある資源を探す
- ❖ 一つの組織が子どもに必要な全ての資源を提供できることなどない。



Resilience
Research
Centre
複雑な生物心理
社会-環境シス
テム



規模





レジリエンス状態のシステム

- ❖ レジリエンスの一つのシステムが変化すると他のシステムのレジリエンスも変わる。



$$B=f(P,E)$$

(行動は人と環境の関数である)

Lewin, K. (1951). Defining the "field at a given time". In D. Cartwright (Ed.), *Field theory in social science* (pp. 43–59). New York, NY: Harper & Brothers.



Rsystem_a

Rsystem=レジリエンスシステム

Rsystem_b

Rsystem_{1,2,3}

$(O_{av} O_{ac})(M)$

$f(S_{cv} E)$

Rsystem_{c...}

回復/ 適応/ 変容

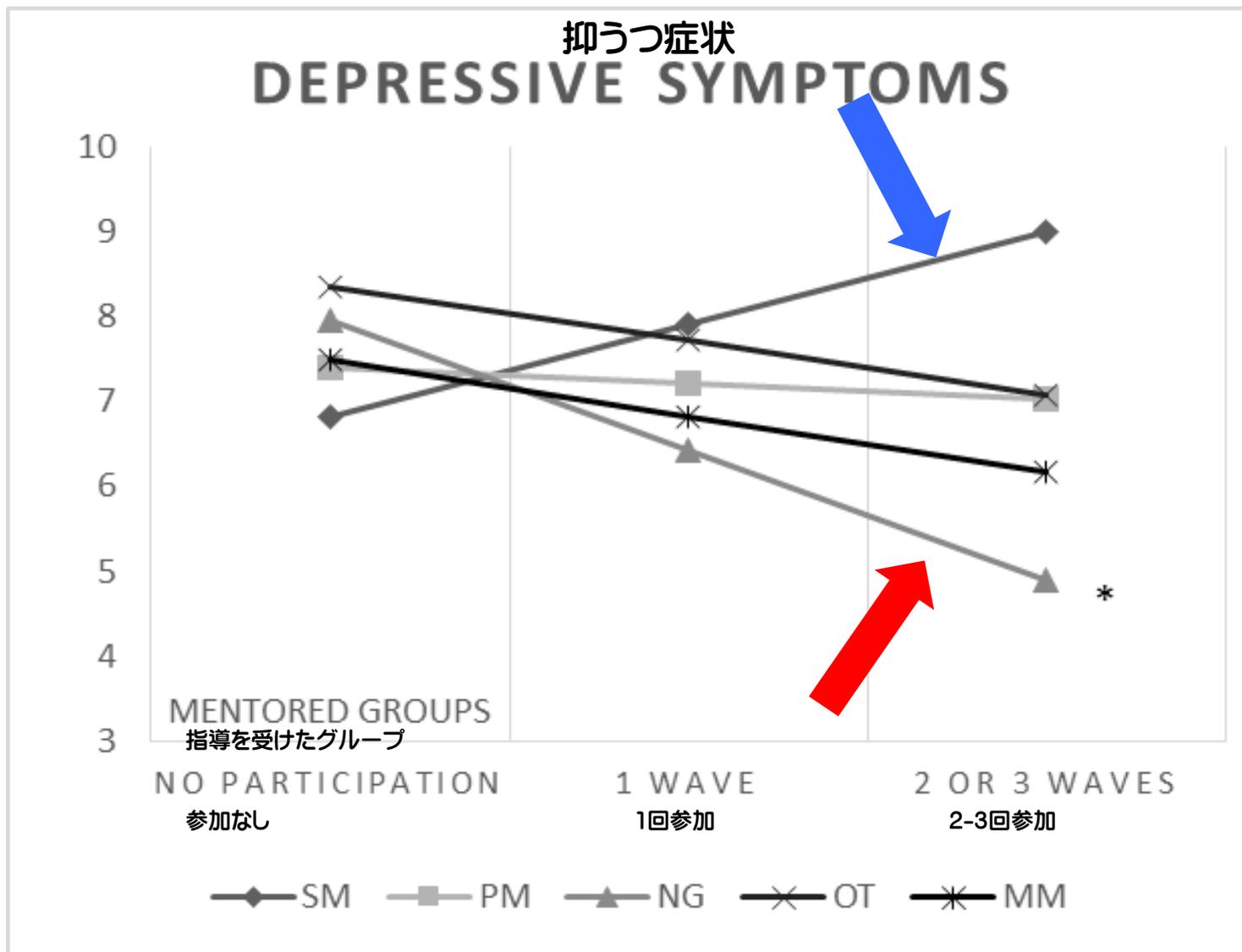
*上記は通常レベルのアドバーシティが人に対して現れた際の状況である。
R=レジリエンス; O=機会; M=意味; S=システム; E=環境; av=資源の可用性;
ac=資源へのアクセス可能性; c=容量(力量); v=脆弱性



インパクトの違い

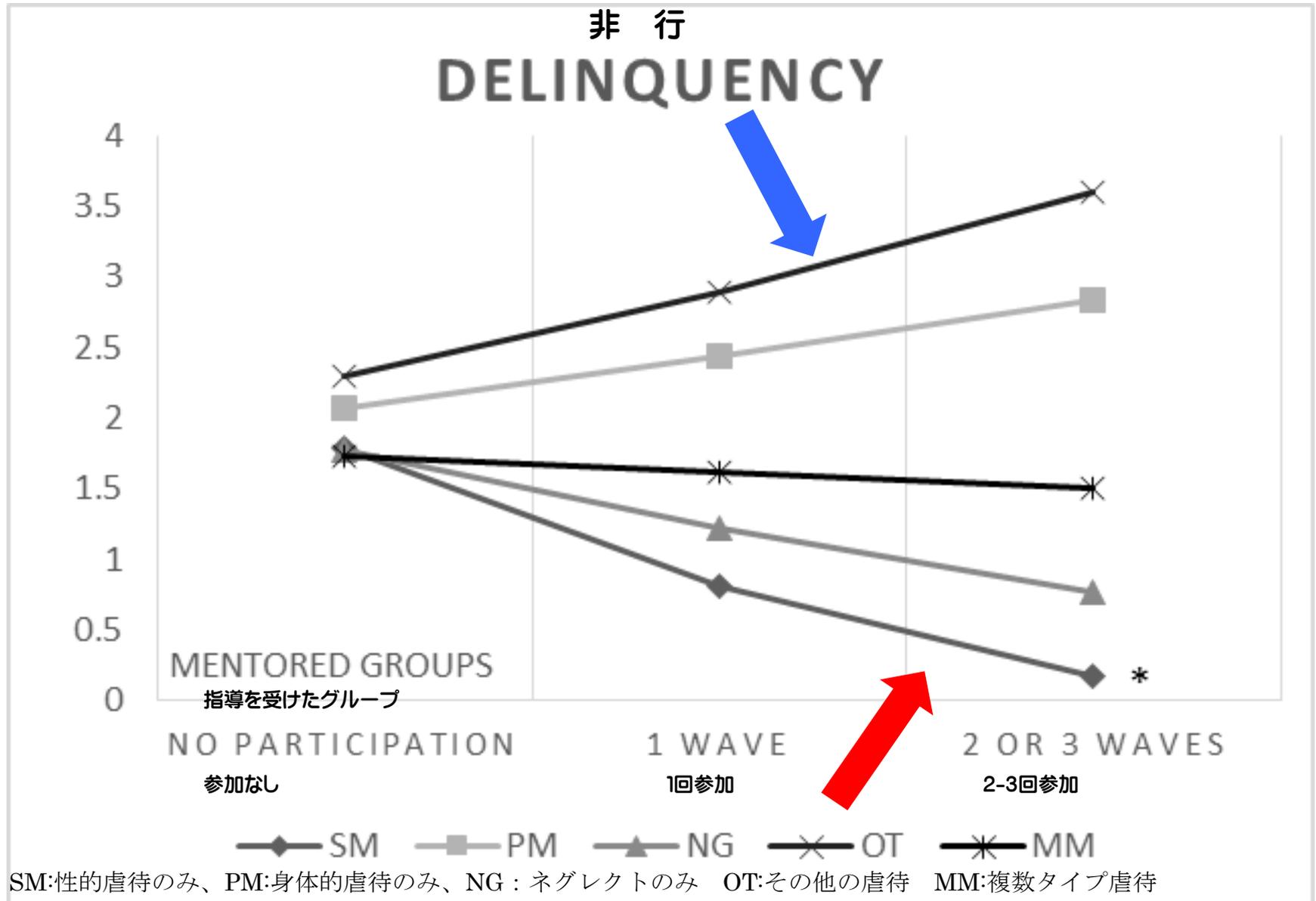
- ❖ 子どもの家庭、学校、コミュニティのストレスが強ければ強いほど、成長を引き出す、より多くのレジリエンス資源が問題になる。
- ❖ 資源は低いレベルのリスクにはポジティブ(もしくはネガティブ)なインパクトを持つだろうが、高いレベルのリスクではネガティブ(もしくはポジティブ)なインパクトを持つだろう。

Delinquency scores, depressive symptoms, and traumatic symptoms by the number of waves of reported participation in organized activities and the CPS maltreatment record at baseline. SM: Sexual maltreatment only; PM: Physical maltreatment only; NG: Neglect only; OT: Other type of maltreatment; MM: Multiple types of maltreatment. Kwak, Y. (in press). Differential Impacts of Participation in Organized Activities and Maltreatment Types on Adolescent Academic and Socioemotional Development. *Child Abuse & Neglect*.



SM:性的虐待のみ、PM:身体的虐待のみ、NG : ネグレクトのみ OP:その他の虐待 NM:複数タイプ虐待

Delinquency scores, depressive symptoms, and traumatic symptoms by the number of waves of reported participation in organized activities and the CPS maltreatment record at baseline. SM: Sexual maltreatment only; PM: Physical maltreatment only; NG: Neglect only; OT: Other type of maltreatment; MM: Multiple types of maltreatment. Kwak, Y. (in press). Differential Impacts of Participation in Organized Activities and Maltreatment Types on Adolescent Academic and Socioemotional Development. *Child Abuse & Neglect*.



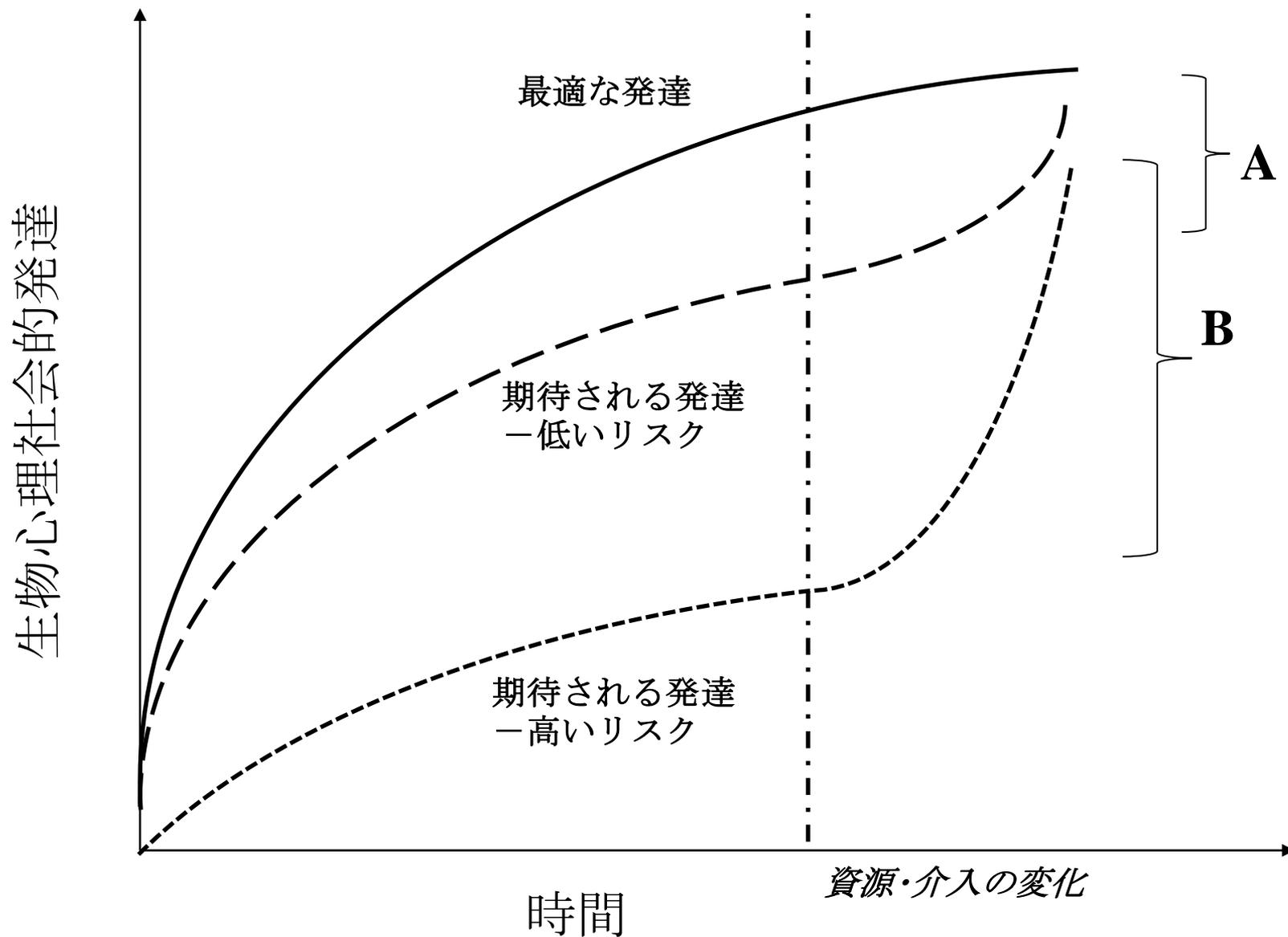


保護要因／プロセスの問題、どちらが最も重要？

❁ 良い問いは:

- ❁ どちらが、問題背景を最も考慮している？
- ❁ どのなりリスクのレベルで？
- ❁ どのなり文化背景の人に？

保護・促進的要因とプロセスのインパクトの差異 (PPFP)—モデル 1



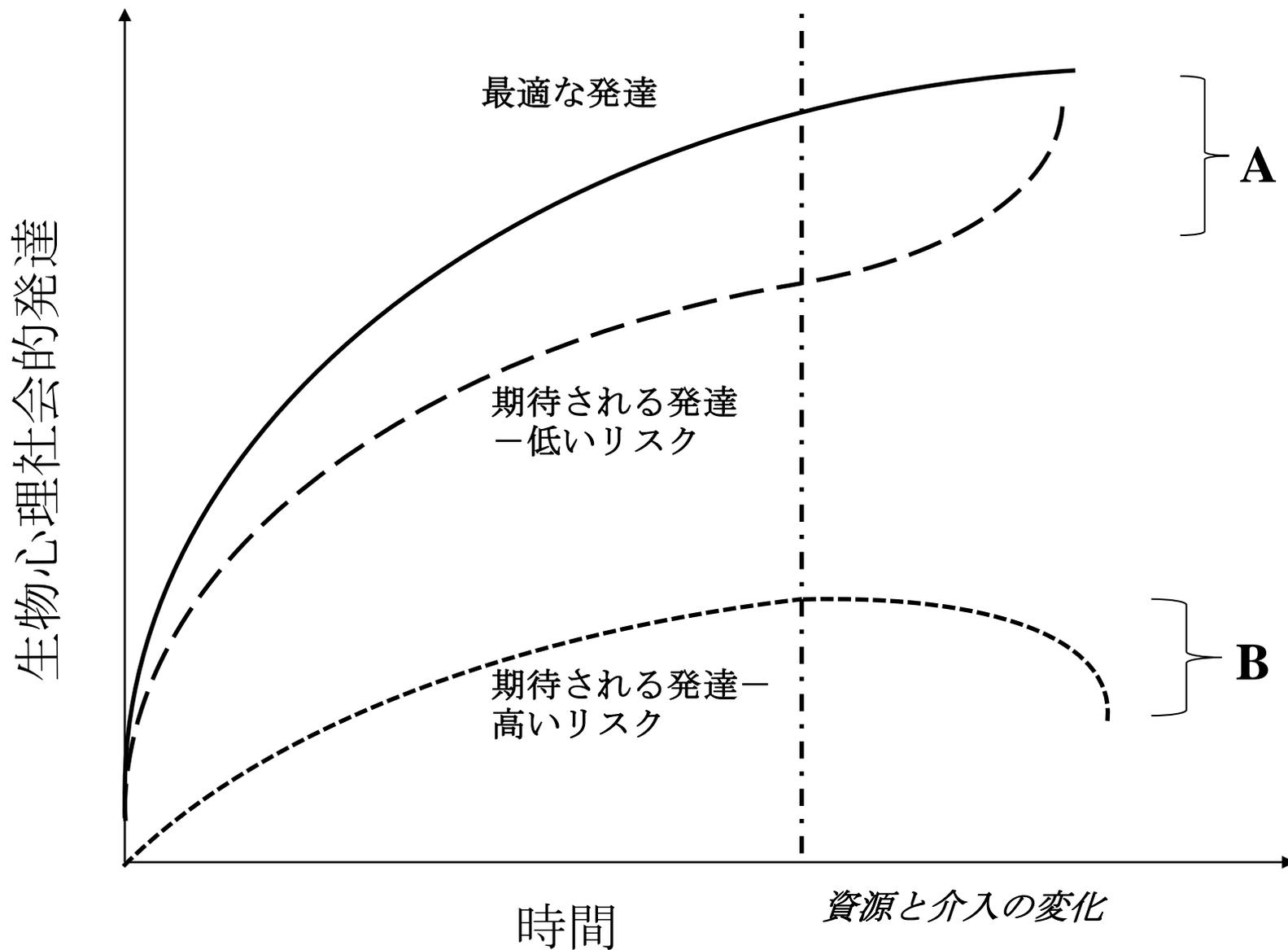


モデル 1 :

経路A 対 経路B

- ❖ 介入は大きなリスクにある若者へ最も大きなインパクトを持つ傾向がある
 - ❖ ヘルプライン(いのちの電話)は最も脆弱な人々へのサービスを提供している
 - ❖ 家庭の中での支援は最も疎外された人々を助ける
 - ❖ 多様なプログラムは最も疎外された人々のニーズに合う

保護・促進的要因とプロセスのインパクトの差異 (PPFP)—モデル2



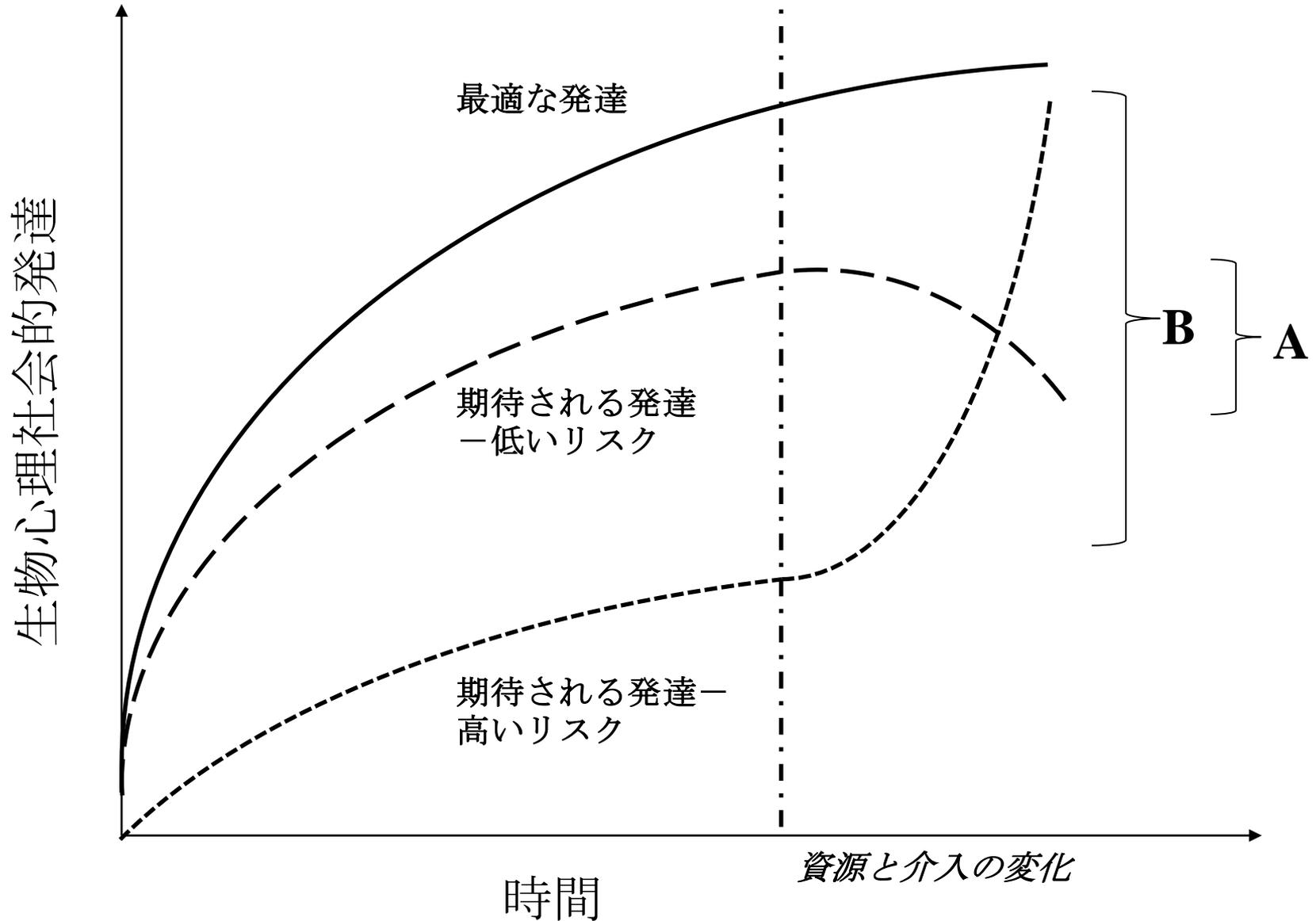


モデル 2 :

経路A 対 経路B

- ❖ 介入はリスクの少ない若者に役立つだろうが、多くの問題を持つ者には有害である
 - ❖ 鎮痛剤は中毒になることがある
 - ❖ プログラム作成への参加の奨励(もし、子どもが不安、PTSD,もしくは他の症状へのかなりの未治療を経験しているのであれば)

保護・促進的要因とプロセスのインパクトの差異 (PPFP)—モデル 3





モデル3:

経路A 対 経路B

❖ 介入は高いレベルのリスクにある若者には有益であろうが、殆ど問題のない者には有害である

- ❖ 自分がリスクの中にいると認識していない子どもの里親(養子縁組)
- ❖ 育児(親族に子どもを育児する意志があり、その家族が十分に機能しているとき)
- ❖ (親として責任のある)子育て



レジリエンス促進資源にアクセスする若者を支援する際、サービス提供者はどんな役割を演ずるのか？



演習: サービス利用の満足に関するアンケート

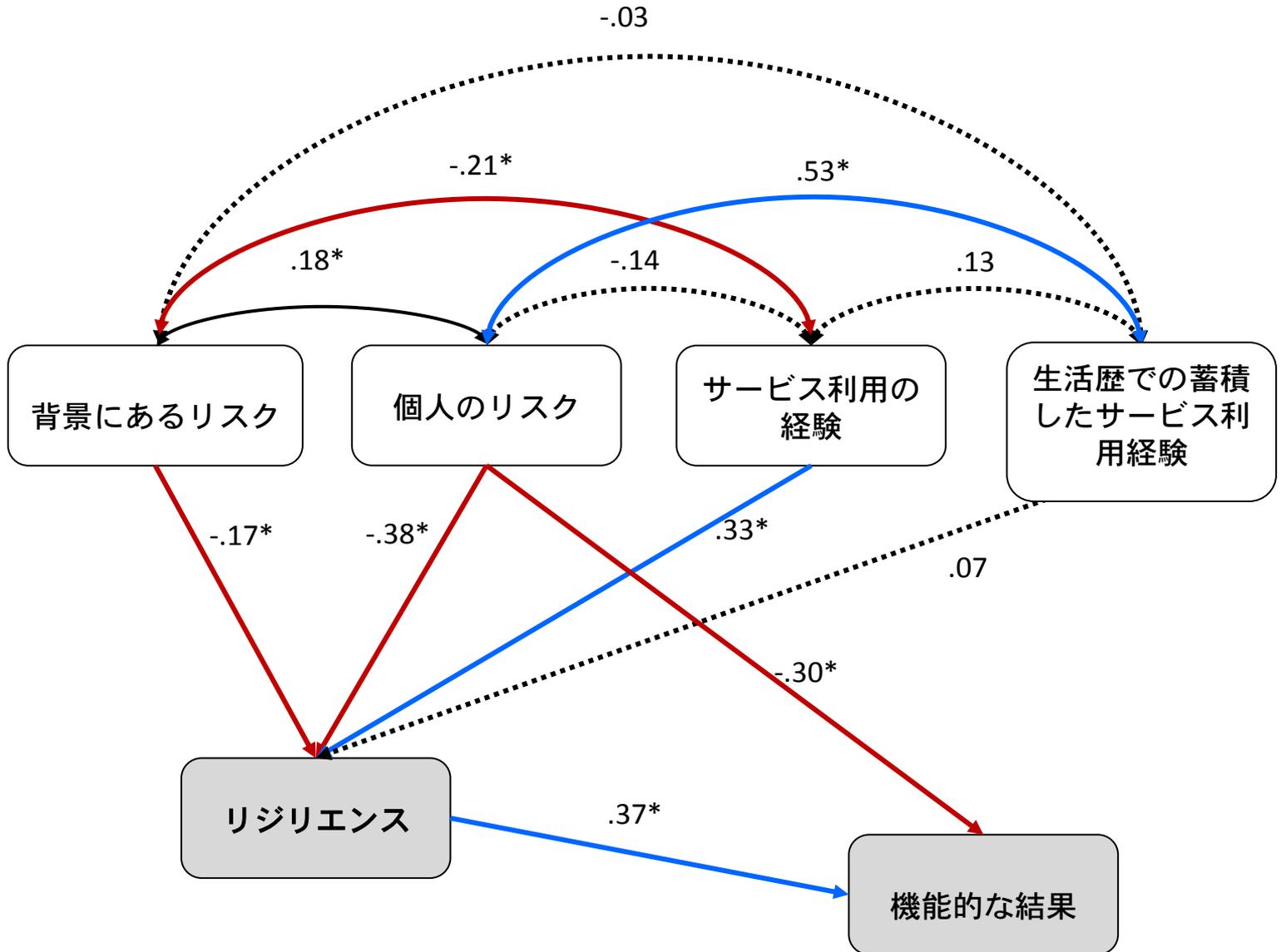
- ❖ 貴方が提供した子ども、若者、家族へのサービスについて考え、サービスを受ける側の視点から以下の質問に答えて下さい。

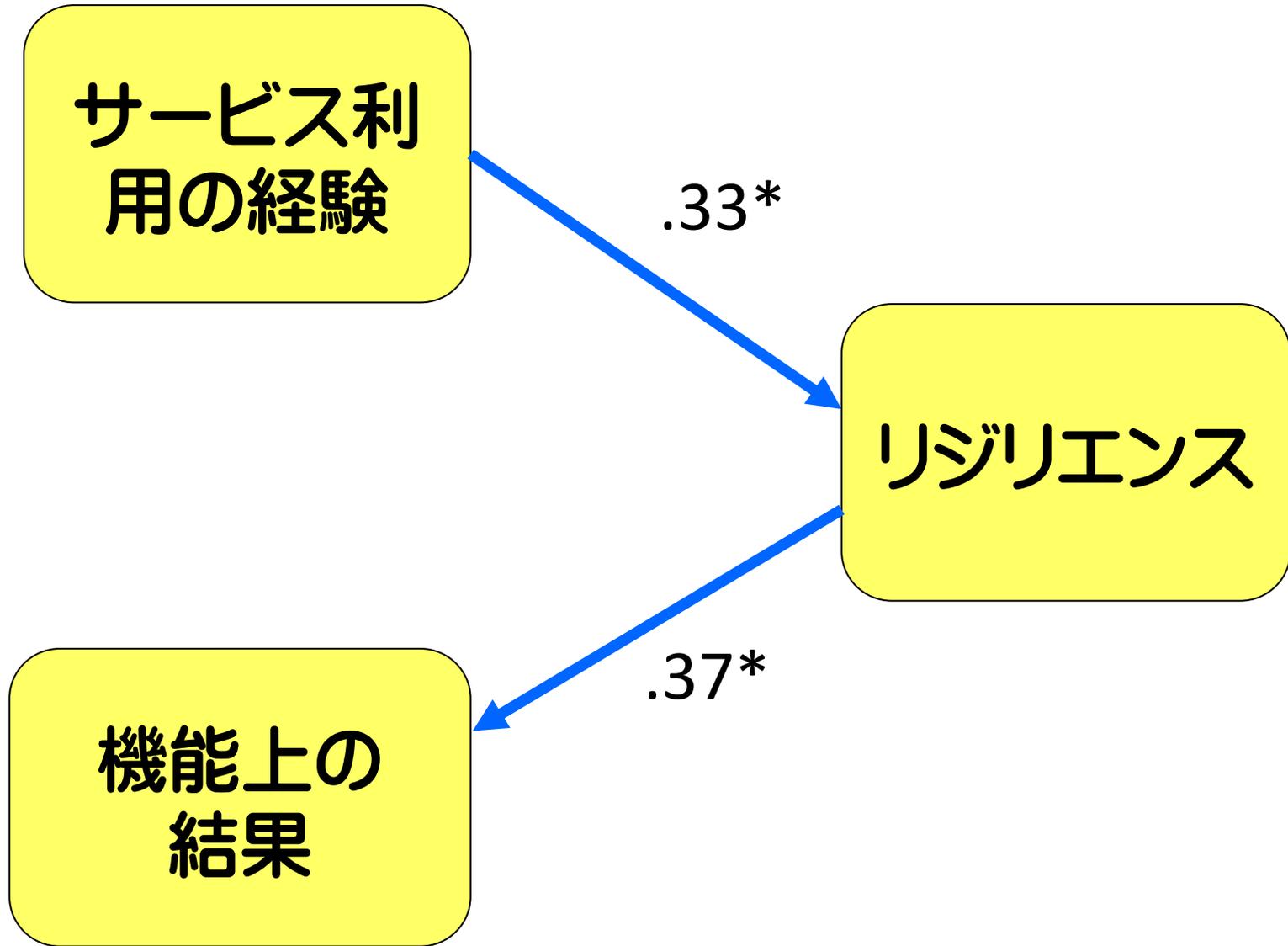


1. 全体として、私が受けたサービスに満足しています。
2. 私は自分のサービスの選択に関わった
3. このサービスがどの様に提供されたかの説明があり、私の欲しいものをお願いすることができた
4. 私にとって適切なサービスが受けられた



5. 私は必要な時にサービスを得ることができた
6. これは私が必要なサービスだった
7. スタッフは私の宗教的、精神的信条を尊重した
8. スタッフは私が理解する方法(言葉)で話をした。
9. スタッフは私の文化や民族的背景に敏感だった(配慮を示した)







学んだ教訓

- ❖ サービスは最もリスクの大きい子どもに届いているとは限らない。
- ❖ 最善のサービスはレジリエンス促進資源へのアクセスを提供することである。
- ❖ より多くのサービス提供が子どもの結果改善になっているとは限らない。
- ❖ サービスは時間経過と共に継続的に提供されることが最も有益である。
- ❖ 最善のサービスは若者(本人)や家族が意味があると思えるなかで提供されるものである。





Resilience
Research
Centre



Thank you!

